
開講科目名：財政学研究 (4単位)

開設年次：1年 2年 3年

開設学部：会計学研究科修士課程会計学専攻 会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：石田 隆造

《授業の概要》

周知のように、日本財政はかつてない赤字に苦しんでいる。それは先進国のなかでも最悪である。本講義ではなぜそのようなになったか解説し、この窮地を打開する手立てはあるのか考える。学部の財政学において、「経費膨張の法則」と「転位効果論」、税制の発展と負担の公平、公債とインフレーション、財政投融资と特殊法人、地方財政調整制度の順に基礎的理論と現状を講義している。大学院では、学部での学習をふまえ、日本財政をより深く調べ、考察することを目指す。一方通行の講義でなく、学生の主体的な取り組みをはかりたい。残念ながら、一挙に財政を再建する妙案はないが、より症状が悪化するのを防ぎ、一歩ずつ再建していかなければならない。1970年代以後の財政支出の変化、税制の検討(所得税・法人税・消費税・相続税・固定資産税など)、公債の理論、政府の金融の是非などを論じ、皆さんに日本財政の将来を考えてほしいと願っている。

【評価方法】

レポート、出席等で評価する

《テキスト》

なし

《参考書》

なし